令和7年3月26日

第2回 日南町議会定例会追加議案

日 南 町

議案第35号

日野町江府町日南町衛生施設組合同規約の一部を改正する協議について

次のとおり、地方自治法(昭和22年法律第67号)第286条第2項の規定により、日野町江府町日南町衛生施設組合同規約の一部を改正することについて、同法第290条の規定により本議会の議決を求める。

令和7年3月26日提出

日南町長 中村 英明

日野町江府町日南町衛生施設組合同規約の一部を改正する規約

日野町江府町日南町衛生施設組合同規約(昭和46年10月20日許可)の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
(組合の事務所の位置) 第4条 組合の事務所は、鳥取県日野郡江府町大字 <u>佐川2番地、日野町江府町日南町衛生施設内に置</u> <u>く。</u>	(組合の事務所の位置) 第4条 組合の事務所は、鳥取県日野郡江府町大字 <u>江尾1717番地1、江府町役場内</u> <u>に置</u> <u>く。</u>

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

この規約は、令和7年6月1日から施行する。

議案第36号

日南町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正等に関する条例の制定について

次のとおり、日南町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正等に関する条例を制定することについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項の規定により、本議会の議決を求める。

令和7年3月26日提出

日南町長 中村 英明

日南町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正等に関する条例

（日南町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正）

第1条 日南町議会の個人情報の保護に関する条例（令和5年日南町条例第12号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
目次 第1章 総則(第1条－第3条) 第2章 個人情報等の取扱い(第4条－第15条) 第3章 個人情報ファイル(第16条) 第4章 開示、訂正及び利用停止等 第1節 開示(第17条－第29条) 第2節 訂正(第30条－第36条) 第3節 利用停止(第37条－第42条) 第4節 審査請求(第43条－第45条) 第5章 雑則(第46条－第52条) 第6章 罰則(第53条－第57条) 附則 第6章 罰則	目次 第1章 総則(第1条－第3条) 第2章 個人情報等の取扱い(第4条－第15条) 第3章 個人情報ファイル(第16条) 第4章 開示、訂正及び利用停止等 第1節 開示(第17条－第29条) 第2節 訂正(第30条－第36条) 第3節 利用停止(第37条－第42条) 第4節 審査請求(第43条－第45条) 第5章 雑則(第46条－第52条) 第6章 罰則(第53条－第57条) 附則 第6章 罰則
第53条 職員若しくは職員であった者、第9条第2項若しくは第15条第5項の委託を受けた業務に従事している者若しくは従事していた者又は議会において個人情報、仮名加工情報の取扱いに従事している派遣労働者若しくは従事していた派遣労働者が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された第2条第5項第1号に係る個人情報ファイル（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したときは、2年以下の <u>拘禁刑</u> 又は100万円以下の罰金に処する。	第53条 職員若しくは職員であった者、第9条第2項若しくは第15条第5項の委託を受けた業務に従事している者若しくは従事していた者又は議会において個人情報、仮名加工情報の取扱いに従事している派遣労働者若しくは従事していた派遣労働者が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された第2条第5項第1号に係る個人情報ファイル（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したときは、2年以下の <u>懲役</u> 又は100万円以下の罰金に処する。
第54条 前条に規定する者が、その業務に関して知り得た保有個人情報を自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の <u>拘禁刑</u> 又は50万円以下の罰金に処する。	第54条 前条に規定する者が、その業務に関して知り得た保有個人情報を自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の <u>懲役</u> 又は50万円以下の罰金に処する。

第55条 職員がその職権を濫用して、専らその職務の用以外の用に供する目的で個人の秘密に属する事項が記録された文書、図画又は電磁的記録を収集したときは、1年以下の <u>拘禁刑</u> 又は50万円以下の罰金に処する。	第55条 職員がその職権を濫用して、専らその職務の用以外の用に供する目的で個人の秘密に属する事項が記録された文書、図画又は電磁的記録を収集したときは、1年以下の <u>懲役</u> 又は50万円以下の罰金に処する。

備考 改正部分は、下線の部分である。

(罰則の適用等に関する経過措置)

第2条 この条例の施行前にした行為の処罰については、なお従前の例による。

2 この条例の施行後にした行為に対して、他の条例の規定によりなお従前の例によることとされ、なお効力を有することとされ又は改正前若しくは廃止前の条例の規定の例によることとされる罰則を適用する場合において、当該罰則に定める刑に刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）第2条の規定による改正前の刑法（明治40年法律第45号。以下この項において「旧刑法」という。）第12条に規定する懲役（以下「懲役」という。）（有期のものに限る。以下この項において同じ。）、旧刑法第13条に規定する禁錮（以下「禁錮」という。）（有期のものに限る。以下この項において同じ。）又は旧刑法第16条に規定する拘留（以下「旧拘留」という。）が含まれるときは、当該刑のうち懲役又は禁錮はそれぞれその刑と長期及び短期を同じくする有期拘禁刑と、旧拘留は長期及び短期を同じくする拘留とする。

附 則

この条例は、令和7年6月1日から施行する。